

# 名編集 岩下さん

# 長・駐在所のお巡りさん ミニ新聞で住民に呼びかけ



見まわり途中、交通安全を願って立てた旗が破損。ただちに修理屋さんに早変わり



2か月に1回発行する「庄瀬だより」

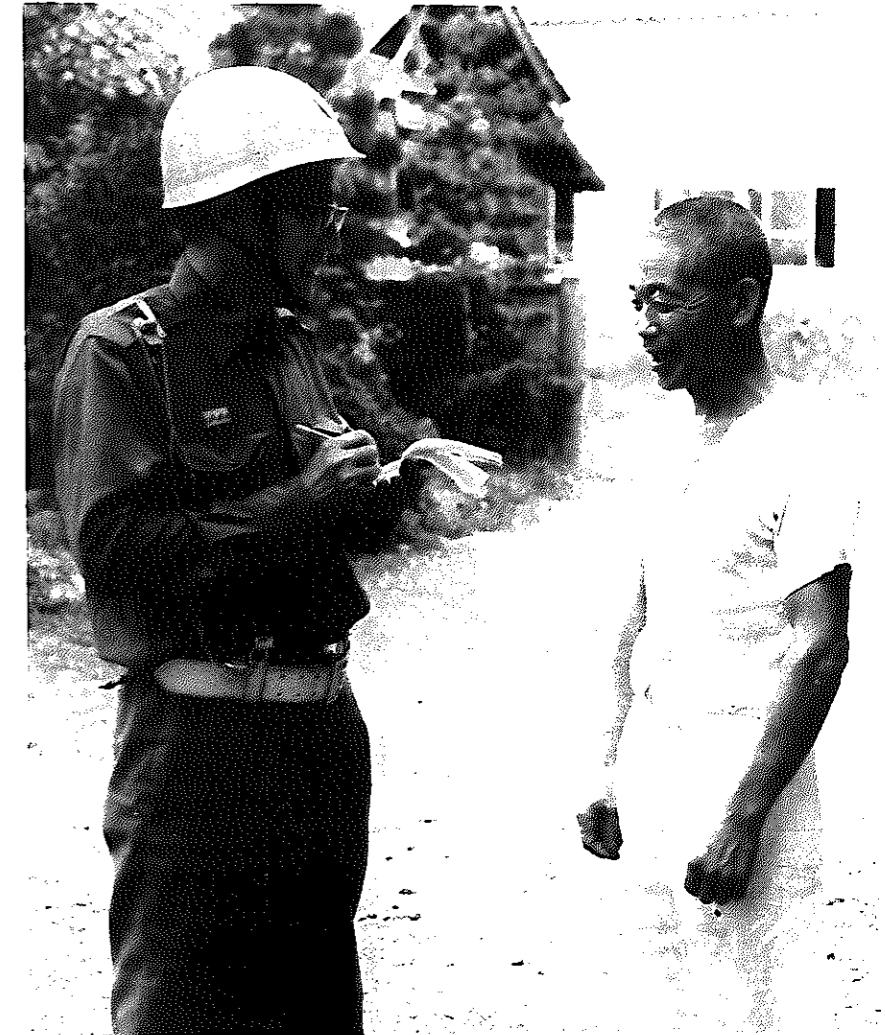
県内各警察署の派出所や交番で、編集・発行しているミニ新聞。このミニ新聞コンクールで県1位になった「庄瀬だより」。今回は、この「庄瀬だより」を発行している庄瀬駐在所の警察官、岩下右吉さん（54歳）をたずねました。

「交通事故や犯罪を減らすには、取り締まりだけでは限界がある。ミニ新聞で住民の心にも訴えよう」と「庄瀬だより」を発行。岩下さんが取材してきたものを、奥さんのマキ子さんと二人で編集していきます。二人が忙しいときは、二男の克之くん（15歳）も応援します。

初めて発行したころは、あまり読んでもらえなかったとか。「どうしたら読んでもらえるのか」と、ずいぶん悩んだそうです。奥さんといろいろ相談した結果「地域住民と密着したものを書いていかなければ…」と、最近では地域の人が登場するコーナーなども設けています。それに、お年寄りや子どもたちが読んでもわかるようにと、記事を書くときに気をくばっています。

そのせいか「かたい内容ばかりでおもしろくない」といわれた「庄瀬だより」も、いまでは「次はどんなものが出るか楽しみです」との声に変わってきています。

「この『庄瀬だより』を通じて、地域の人たちの間に、交通事故や犯罪を減らそうという意識がめばえれば」と、岩下さん夫妻は語っていました。

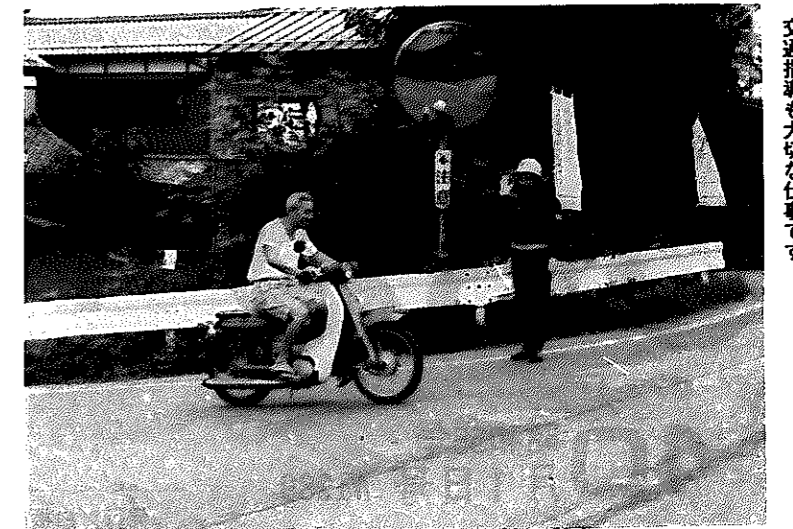


「おじいちゃんところの戸締まりはだいじょうぶかね」メモ帳を片手に、地域の人の声を取材します

「主人が編集長です」と話す奥さん。二人の意気げが伝わった。茶の間がミニ新聞の編集室



「おばあちゃん、具合はどうだね」道ばたで休んでいるおばあちゃんに、やさしく声をかける



「安全運転で頼みますよ」と呼びかける岩下さん。交通指導も大切な仕事です